

球春到来！いよいよシーズンが始まるかと思うとワクワクします。と、その前にWBCですね。清峰高校出身の今村投手が出場します♪カープの選手、しかも長崎県出身！これまで以上に応援に力が入りそうです。

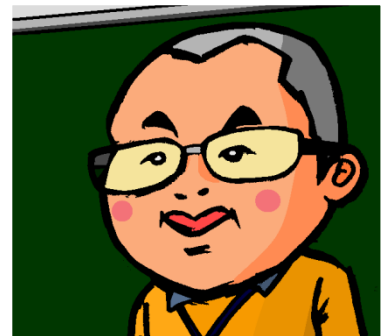
2月 定例会を兼ねた長崎セミナーがありました。

私は、分科会『心とからだを見つめる「からだ探検隊」の実践について』と午後の講演会に参加してきました。

<分科会> (参加者28名)

「NPO法人障害児・者フリースペースの会 遊歩」の方が夏休みに長大保健学科の学生の方と一緒に取り組んだ「からだ探検隊」についてお話してくださいました。事業所内で見られるようになった性に関する様々な「困り感」に対して「きちんと教えない」という職員の方々の思いから始まったこの活動。当日は小学校高学年から高校生までの18名の参加（希望者）があったそうです。

知識の定着には繰り返しの学習が大切なので、今後も全体での取り組みの他に年齢や発達段階に合わせて小人数や個別にも対応していきたい。また、教材研究も進めていきたいということでした。



<プログラム> 事業所と大学生で意見を出し合って作成

- 1：大人になるからだ
- 2：プライベートゾーン
- 3：わたしの場所とみんなの場所 ・プライベートな場所とパブリックな場所の違い。そこでしていいことダメなことを具体的に写真を使って学習。
- 4：大人になる心と約束（恋愛メーター） ・人を好きになる気持ちって？特別な人ってどんな人？
- 5：大人になる心と約束（安心できる距離） ・人との距離の取り方を学習。絵で学習した後、実際にサークルを作って参加型の学習で距離を再確認。
- 6：まとめのロールプレイ ・実際の生活の場面での出来事で「していいこと、いけないこと」を学習。

研究協議では、保護者の方や福祉施設の方などそれぞれの立場からお話が聞くことができ、からだの学習の実施とそれを続けていくことの大切さを改めて感じました。また、家のトイレはプライベートな場所だけど公衆トイレはパブリックな場所。トイレって、子どもに教える時はプライベート、パブリック・・・どちら？と、トイレ一つとっても捉え方は様々だと思います。子どもに教えるにあたり、保護者や学校、事業所間での共通認識、連携の大切さを感じた時間でもありました。

参加者の方の感想にもありましたが、今回のような取り組みが学校や他の事業所などにも広がっていくといいなとも思いました♪

<講演会> 「子どもたちを大切にすること～性教育の可能性～」

全国児童養護施設サークル 中井良次さん

これまでの豊富な経験からのお話の中に子どもたちを大切に思う気持ちがたくさん詰まっていて、特に「性の問題は命に係わるという思いで頑張っている」という言葉が印象に残っています。また、実物大にこだわっているという教材も子どもたちにわかりやすく工夫されていて、参考にさせて頂こう！と思うものがたくさんありました♪関西の方ということで、のりつっこみを交えてのお話であつという間の2時間でした♪

<お知らせ>

次回の定例会は5月18日（土）の予定です。皆様のご参加、お待ちしております♪

